

方に就航促す

規・増便、着陸料下げ



市場

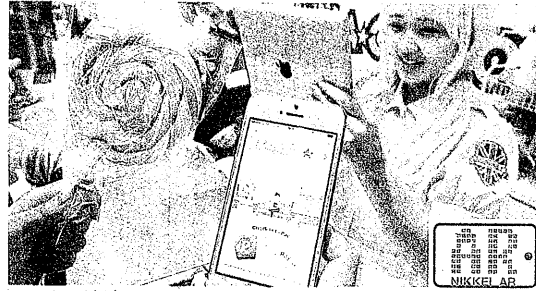
首相、

「ヴェニス」の商人のシャイロックから半沢直樹まで。いくら、いつまで、どんな金利で、どんな担保を取ってお金を貸すか。貸し倒れを避けながら、どのようにに元金と利子を回収するか。古今東西、それが金融業者の腕の見せどころだ。

借り手にも貸し手にも「低いリスクで高いリターン（もうけ）」をどの欲望がある。そこに戯曲やドラマが生まれる。

膨大な決済情報

そんな金融のアート（芸術）ともいえる融資のリスク管理に技術革新の波が押し寄せている。米シリコンバレーのサ



スマホで決済できるペイパルのサービス

シャイロックの憂鬱

リアル逆襲

2013年に借り手を

どれだけ信用できるかを自動的に審査するシステムを開発。銀行免許がないため融資は提携するウェブバンク（ユタ州）が実行するが、事実上の銀行業進出を果たした。

強みはビッグデータだ。誰にどんなものをどれだけ売っているか。滞りなく代金を受け取れているか。ペイパルはイ

03年度以降、邦銀はこぞって中小企業向けの無担保融資に「スコアリング（評点制）モデル」を導入した。決算書を入力すると機械が自動的に信用リスクを審査するとの触れ込みで、金融庁も導

強欲と反省、繰り返して



ツイッター共同創業者のドーシー氏が率いる米スクエアも決済データを武器にする

入を強く後押しした。しかし、多くは貸し倒れに陥り、日本振興銀行の破綻も招いた。決算書が信用できないという落とし穴のためだ。

ペイパルは決算書ではなく日々のお金の流れを完全に押さえ、借り手を丸裸にできる。しかも、貸し出したお金は、日々の決済額から一定割合を回収する。メガバンク首脳も「今回はリアルな商取引の裏付けがある。大きな可能性がある」と関心を寄せる。

米ツイッター共同創業者ジャック・ドーシー（37）は「世界は情報がよどみなく流れ、透明化の方向に動いている」と話

無料アプリ「Aurasma」をダウンロード

「NIKKEIAR」をフォロー

(詳細は電子版に)

関連記事5面、電子版にWeb刊、紙面運動